

ちゅういっぷ組だより<3月号>
令和6年 3月 22日 ことり保育園 担当：野口

日中のぽかぽかした陽気が、春の訪れを感じさせてくれます。
暖かい日は、皆、戸外に出ることを喜んでいきます。「お外行こうね。」と声を掛けると、頭を“ドントン”して帽子を被るということを表現したり、自分で靴を出して履こうと足を入れたり、外に行く準備が分かってきました。最近、子ども達が好きな遊びは、木製の大きな汽車やアンパンマンのバス・砂場です。自分で階段を一段一段しっかりと上り、すべり台を笑顔で滑り、友だちと順番に何度も楽しんでいます。



アンパンマンのバスに入ると、ハンドルを回しながら“いってきま～ず”というように、まわりにいる友だちに手を振ったり、砂場ではシャベルを手に、砂をすくってドーナツ型のカップに入れ見せてくれます。

「(カップを)パタンしてドーナツ作るの?」と子ども達の思いを代弁しながら一緒に遊び、ドーナツの型抜きが成功すると、「できた!」と嬉しそうな声が聞かれたり、「モグモグ...」と食べるような仕草も見られ、表情も豊かになりました。

また、室内では絵本を見るのが好きで

「でんどんどん」(チャイルド社)や「はくしゅぱちぱち」(ひかりのくに)などが人気です。繰り返しのことばを皆で言ったり、動作を真似したりして楽しんでいます。



この一年間たくさん遊んでたくさん食べて、友だちとの関わりの中、いろいろな経験を通して、心も体も大きくなった子ども達。

その成長を近くで見守ることが出来、嬉しく思います。

そして、これからの成長も楽しみにしております。

保護者の皆様には、ご理解・ご協力をいただきありがとうございました。

